

令和5年度第3回広島市都市デザインアドバイザー会議 会議要旨

1 開催日時

令和5年（2023年）12月1日（金）15時35分～17時50分

2 開催場所

広島市役所本庁舎14階第7会議室

3 出席者

出席委員（7名）

田中 貴宏、角倉 英明、今川 朱美、高田 由美、柏尾 浩一郎、吉田 幸弘、
塚本 梓織

4 議事

- (1) 安芸消防署新築工事について（1回目会議）
- (2) 広島市西風館増築工事について（2回目会議）
- (3) 基町相生通地区第一種市街地再開発事業について（報告）

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者

一般傍聴者 2名
報道関係傍聴者 3社

7 会議資料

会議次第、委員名簿、出席者名簿、配席図、議事資料

8 会議要旨

(1) 議事1 安芸消防署新築工事について（1回目会議）

議事内容の説明を行い、デザイン上の配慮事項に関する提案を受けた。今後の検討事項は次のとおりである。

ア コンセプトについて

- ・優先度が分かるようにしてほしい。
- ・コンセプトの1番、3番、4番を軸に計画してほしい。

イ 人の動線について（配置計画について）

- ・多くの質問が出たので、今後も配慮して進めてほしい。

ウ 緑地について

- ・防火防災学習緑地に限らず、敷地全体について、周辺から視認できる緑地があれば良い。
- ・周辺に緑が少ないエリアのため、地域の人がりフレッシュできる雰囲気があれば良い。

(2) 議事2 広島市西風館増築工事について（2回目会議）

1回目の会議での委員からの意見等を踏まえた設計内容について説明を行い、デザイン上の配慮事項に関する提案を受けた。今後の検討事項は次のとおりである。

ア 子供のための空間について

- ・芝生スペースに入れるようにするなど、子供に対する視点に配慮してほしい。

- イ 増築棟と既存棟の違いについて
 - ・サインを含め、施設に合った分かりやすさを提供してほしい。
 - ・案内のしやすさに考慮して、棟の違いをデザインしてほしい。
 - ・分かりやすいだけでなく、施設のデザインに合った品のあるサインとしてほしい。
- ウ カスケード（人工的な滝）について
 - ・周辺の外構と調和する形となるように、検討してほしい。

〔会議所掌対象外の意見〕

- エ トイレ、パウダールームについて
 - ・心情に配慮した配置計画としてほしい。
 - ・火葬場として最適なトイレとパウダールームの数のバランスを検討してほしい。

(3) 議事3 基町相生通地区第一種市街地再開発事業について（報告）

12月中旬からの解体工事着手の情報提供の後、これまでの検討での委員からの意見等を踏まえた最終的な設計内容について報告を行った。
 今後の管理など、引き続き注意してほしい事項については、以下のとおり。

- ア 1階ピロティの蛇籠^{じまかご}のベンチについて
 - ・より多くの人に利用してもらえるデザインや配置を考えてほしい。
- イ 6階オープンテラスのデザインについて
 - ・利用者のニーズに沿った空間デザインにしてほしい。
- ウ デザイン背景の思いの共有手法について
 - ・できるだけ多くの人に伝わるような手法を考えてほしい。
 - ・WEB上だけでなく、直接的に現地で分かる、物理的に伝わるものがあっても良いと思う。

【会議概要】

○井上都市デザイン担当課長

（開会挨拶、配布資料確認、出席者紹介及び議事説明）

○田中座長

それでは、本日の議事(1)「安芸消防署新築工事について（1回目会議）」の説明をお願いします。

○井上施設整備担当課長

（議事(1)「安芸消防署新築工事について（1回目会議）」の説明）

○田中座長

ただいまの説明に対して、御意見等あればお願いしたい。

○角倉副座長

11あるコンセプトの中に、重要度が違うものがあると思っている。消防署として、どの部分を確実に達成すべきところだと考えているのか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

1番の「迅速かつ安全な出動体制を備えた庁舎」を一番大まかに据えて、全てを計画している。

○角倉副座長

そこを軸にしているということか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

そうである。

○角倉副座長

3番と4番もかなり重要なコンセプトだと思っている。近年、災害が多くなっているの
で、拠点のような役割というのは地域にとって重要だと思う。

よって、1番は日常における重要な部分であり、3番と4番は非常時における重要な
部分だと思うので、1番と3番と4番を軸に計画してもらえれば良いと思う。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

承知した。

○柏尾委員

10年近く前に、本会議で、緑井辺りに消防署を建てているわけだが、その時のコンセ
プトから、新たにプラスされている価値などがあれば教えてほしい。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

安佐南消防署のことだと思うが、10年以上前の施設である。それから色々な諸条件も
変わり、大災害もあった。

浸水対策及び構造的なものをどのように重視していくかを一番のコンセプトにしてい
るため、水をいかに止めて消防機能を充実させるかを大前提にしていく。

○吉田委員

来庁者は、こういった目的で来られる人が一番多いのか。

○加納施設係課長

安芸消防署は、消防署所の中でも本署と呼び、火災予防関係の届出や、消防用設備等
の消防法令の適合状況などの協議により、専門業者が来庁されることが多い。その他、小
学生、幼稚園児が見学に来ることが非常に多くなると思う。

○吉田委員

5ページのパースで、屋根の形態が街道の町屋のようなという表現をされているが、イ
メージでこの形になったということか、それとも内部空間との関わりということか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

屋根が上がっている部分に、120人程度が入る講堂を計画しているため、天井高を
確保したいこと、海田町の庁舎も同様の格好で流れの大きな屋根を設けていることを考慮
して計画している。

○吉田委員

コンセプトの中で、機能や防火思想などに重点を置いているという考え方だと思うが、
一方でそのイメージが町屋や木質化につながりづらいと思う。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

外部に関しては、木をそのまま張ってしまうことはNGなので、内部にする。例えば、
エントランスの内装や天井、講堂回りに木質関係を使用したいと考えている。

○吉田委員

外観のところでルーバーがあるが、これは木質化ということではないのか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

木目調である。

○吉田委員

素材は、木ではないということか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

そうである。アルミで木目調という格好になると考えている。

○吉田委員

機能的には、ルーバーの奥は通路なのか、こういったものになるのか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

通路でなく設備置場である。隊員が生活するスペースとして、待機室を約23室設け、
個別空調となるため、屋外機を置くスペースとなる。将来的に機械を取り替えるなど、メ

メンテナンスを踏まえて、ランニングコストをいかに落とすかというところで設けている。

○吉田委員

窓はあるのか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

設備置場の奥側につける。壁の中に窓が入ってくる。もう少し具体化した案では、反映されてくる。

○今川委員

屋上は、何か利用される予定はあるのか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

自家発電置場やキュービクル、訓練施設、防災行政無線パラボラアンテナを屋上に設置することになると思う。

○今川委員

5 ページの南側外観パースで、やぐらみたいなものがあるが、これは登ったり降りたりするものか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

ロープやはしごを上がっていくもので、訓練の一環で設けている。

○今川委員

6 ページのパースで、道路面から見えるコーナーに、袖壁のようなものがあるが、デザイン上の理由はあるのか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

バルコニーではなく、あくまで設備置場のため、これをぐるっと回してしまえば、老人ホームなどのバルコニーと同じように見えてしまう。今回はデザインを面で構築していきたいため、ここで一旦切っている。

○今川委員

4 ページでプロムナードは、歩行者専用通路とした南北を自由に通り抜けできるものを考えているが、消防車両動線と一般車両動線があって、そこをつなぐような形で歩行者が通るのか、それとも利用者動線のとおり通るのか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

幅を約1800ミリメートル、国道などで使用されているガッターブロックで1500ミリメートル上げて、通路を確保するため、動線が重なることはないと考えている。

○今川委員

道路接道は8メートルということだが、8メートルの幅をいじめるような形で歩行者専用通路を設けるといふことか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

そうである。

○今川委員

消防車等が停車しているイメージを示しているが、救急車はどこか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

中央付近に考えている。

○今川委員

消防車の並びに決まりはあるのか。どこの消防署でも、救急車が一番出やすい位置にあると見ていた。この場合、出口から遠い場所になると思うが、支障ないのか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

今回はあくまで配置計画を示しているが、現状、階段の位置が変わり、階段を降りてきた位置に救急車があるという形に変更している。救急車が一番出動回数が多いと思うが、それに配慮したプランの最中である。

○今川委員

歩行者が南北を自由に通り抜けできるというのは、非常に便利であり、必要だと思うが、確保してしまうことによって、緊急事態発生の際に、高齢者がゆっくり歩いているところを救急車が通り抜けることが起こり得るのではないかと。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

北側県道の出入りについて、歩道を横切ることあるため、街区の角地に消防署があると仮定すれば、支障になるものではないと考えている。今、歩道が拡張工事をしているため、今の倍以上の幅となり、回避するスペースはもっと取れると思っている。

○今川委員

歩行者用に2メートルほど取り、6メートルぐらいのところまで消防車が出ていくということか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

そうである。2台いっぺんに出ることはない。

○高田委員

防火防災学習緑地は、ここでどのようなことをするのか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

消防署の敷地の中での一つのエリアとして整備するものと考えている。

防災体験やイベント等を行うスペースとしても計画するが、それだけでは普段利用しない空地となるため、近隣の方々に普段使いしてもらおう計画を今考えている。普段使いしてもらいながら、自然と防災や防火についての情報が目に入る仕掛け、例えば案内板や防災釜土ベンチ、マンホールトイレなど、地域の方が活用できるようにする。

また、プロムナードから同レベルで歩いて行けるように、一体化を考えている。

○高田委員

公園みたいなものか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

そのようなイメージであるが、都市公園ではない。

○高田委員

木などはあるのか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

ある程度の緑はあると思うが、あくまでも土と考えている。

○高田委員

広島市の建物で、よく緑化面積の規定があるが、それはどうなのか。あまり緑がないと思った。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

建設地は海田町だが、広島市の条例の規定を準用し、緑地を確保しようとしているため、防火防災学習緑地と緑地スペースを取っている。敷地面積の10パーセントを計画している。

○高田委員

先ほど土と言っていたが、緑は多めなのか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

芝生などを考えている。

○高田委員

10台の駐車場で、外部用は足りるのか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

これは、消防署の事務室に行く方々の駐車場である。訓練施設のスペースに、ある程度の空地ができ、緑地のスペースにも車が停められるように配慮する。

○高田委員

駐輪場も同じ造りか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

そうである。

○高田委員

コンセプトの6番で、防火思想等の普及啓発に係る空間・設備の確保とあるが、これは室内のことか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

室内に展示のスペースがあったり、エントランスを兼ねた大きな空間の中で、防災に関する資料を展示したりすることを考えている。

○高田委員

小学生などが見学に来ることに対して考えられていると思うが、一般の市民など、大人にも開かれた状態にするということか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

そうである。自由に出入りできるスペースがある。

○吉田委員

プロムナードは、公道か。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

公道ではない。

○吉田委員

図面上では、南北に扉を図示しているが、どうなのか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

扉はない。（図が誤り）

○吉田委員

24時間オープンということか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

現時点では、そうである。

○吉田委員

誰でも入って来れるのに、公道ではないということか。自由に近隣の方が行き来しても問題ないということか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

そうである。自由に通ってもらうことで、地域に開放された施設としている。

○吉田委員

中学校のグラウンドとの境は、柵などを考えているのか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

現状は、メッシュフェンス、その前側に防球ネットを考えている。今、住宅と病院のところに防球ネットがあるが、それを移動させて、野球ボールなどを止めようと計画している。

○今川委員

自転車置場が奥まっているが、基町高校の自転車置場をイメージすればよいのか。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

職員用の自転車置場のため、設けるか設けないか自体これからであるが、この辺りで職員用の駐輪スペースを取ろうと考えている。来庁者に対しての駐輪スペースは、別に設ける。

○今川委員

職員の方は、自転車置場からそのまま建物に入るかと思うが、市民の方はこの自転車置場を使用できず、エントランスに向かわなければならないため、市民用の自転車置場は

どこか聞いたかった。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

エントランスの南側辺りに、一般用の駐輪スペースを設けようと考えている。

○今川委員

佐伯区の消防署は、道路に面しており、子供たちが自由に遊びに行っているイメージである。敷地の真ん中にエントランスがあるため、子供と自由にふれあえるということが想像しづらい。

○設計業務委託者（株式会社K構造研究所 丸本氏）

消防車をプロムナードから見れるパターンと間近に見れるパターンのどちらも行う。エントランスの警備室に、隊員が必ず一人はいるため、自由にエントランスに入ってもらい、対応及び案内を行うと思う。

○田中座長

それでは、皆様から意見を頂けたと思うので、まとめをさせていただく。

一つ目は、コンセプトの中で、推すところ、柱になるところが見えると分かりやすいかと思う。

二つ目は、人の動線について、多くの委員の方が少し気になられていた。いろいろ御回答いただいたため、配慮はされていると思うが、その辺りに少し気になるところが現時点ではあるかと思う。

三つ目は、緑地について、これから設計ということだと思うが、この辺りがどうなるかということが気になるところとしてはあったかと思う。防火防災学習緑地だけではなく、敷地全体について、周りに対して視認できるような形で、緑がもう少し入ってくると良いと思ったので、可能な範囲で御対応いただけると良いと思う。このエリアは、写真を見てもそうだが、都市デザインという観点からいうと、バイパスが通っていて、かなり人工的なエリアになっている。そういう意味では、リフレッシュできる雰囲気が出ると良いと思う。

議事(1)については以上である。

○田中座長

それでは、本日の議事(2)「広島市西風館増築工事について（2回目会議）」の説明をお願いします。

○井上施設整備担当課長

（議事(2)「広島市西風館増築工事について（2回目会議）」の説明）

○田中座長

ただいまの説明に対して、御意見等あればお願いしたい。

○角倉副座長

化粧室の数についてだが、5ページの平面図で、例えばお別れ室1の人は、どこの化粧室に行くのか。待合室の手前か。

○設計業務委託者（株式会社内藤建築事務所 成嶋氏）

エントランスの化粧室と待合室手前の化粧室の2箇所をうまく案内する。

○角倉副座長

シーンが少し違う気がしていて、心情への配慮がもっとあっても良いと思った。待合室ごとに化粧室があってはだめか。化粧室の位置付けは結構大事な気がしていて、考える余地があると思う。

○設計業務委託者（株式会社内藤建築事務所 成嶋氏）

これまで全国で火葬場を設計しているが、待合室ごとにトイレをつけた例はない。あっても洗面台のみである。

○角倉副座長

一般の傾向があればそれで良いが、シーンに差が出るということがこの施設の中で起きるので、最大限配慮した計画を最後まで練ってほしい。

○今川委員

14ページの緑のテラスは、芝生を張って、段違いを設けられるが、人が芝生の中に入って良いのか。

○設計業務委託者（株式会社内藤建築事務所 成嶋氏）

今想定しているのは、通路で上っていく散策路をイメージしている。

○今川委員

小さい子供が来た時、じっとしてられない。芝生の中に自由に入ることができたら、時間を潰すことができると思った。子供のために、時間と場所を作ってほしい。

○設計業務委託者（株式会社内藤建築事務所 成嶋氏）

確かに親戚が集まった中で、自分の子供が大きな声で泣いたり騒いだりすると、非常にお母さんは気を遣うため、少し離れていれるような場所があると良いというところでラウンジも設けているが、子供のための配慮もできれば良いと思う。

芝生については運用側との調整になるので、話をしていきたい。

○今川委員

トイレについてだが、私はトイレが別にあつた方が良いと思っている。少し離れたところにトイレがあつて、少し気持ちをトーンダウンできた方が良いのではないかと考えて拝見した。

また、既存棟では、事務室はどこにあるのか。

○設計業務委託者（株式会社内藤建築事務所 成嶋氏）

入って正面にある。

○今川委員

事務室はこれで足りるのか。管理する建物が増えても大丈夫なのか。

○設計業務委託者（株式会社内藤建築事務所 成嶋氏）

少し大きくなっている。火葬を操作する方と案内する方は外に出ているため、他の施設よりバックゾーンは必要でない。十分足りると思う。

○高田委員

6ページに素材感のある落ち着いた仕上の採用とあるが、既存棟にはない新しい部分があるということか。

○設計業務委託者（株式会社内藤建築事務所 成嶋氏）

外装で使おうとしているメインの素材については、同じものを検討している。既存棟は、自然素材が非常に良く見えているため、踏襲していくのが良いと考えている。

○高田委員

全く同じでなくても良いという気がしていて、例えば、石の大きさを変えるなどはどうか。

○設計業務委託者（株式会社内藤建築事務所 成嶋氏）

来訪者の目線で見たとときに、庇とエントランスが、大きなデザインのポイントと考えており、既存棟がガラスの庇で透明感があって、抜けて中庭が見えるという感じである。増築棟は、先が建物で見えないため、庇のデザインを変えて、奥の壁に増築棟らしさの素材、例えば木など今の時代に合った素材で、棟の違いがパッと見て分かりやすい、案内のしやすさとともにデザインを考えたい。

○高田委員

とても良いと思う。

ランドスケープについても、瀬戸内海らしい、広島らしいということができていて、流れがあつて、川のイメージであるとか、段々な感じもすごく良いと思ったが、カスケードが直接的で、高さもあり、これまでのゆるやかなイメージと違うと感じた。

○設計業務委託者（株式会社内藤建築事務所 成嶋氏）

中庭をとった広々とした面の既存棟に対して、今回の細長い増築棟は、木々があるがマチ側のため、ランドスケープとしての引きがないと考えた。

待合ロビーは、滞在時間が長いと考えられるため、人の視線を上に向けたいと考え、奥行きが無さを活かした。少し都会的なイメージがあるので、具体的なところはもう少し検討していくが、このような装置が有効かと思う。

○吉田委員

カスケードは、実際に水が流れるのか。

○設計業務委託者（株式会社内藤建築事務所 成嶋氏）

流したいと考えている。

○吉田委員

音は聞こえるのか。

○設計業務委託者（株式会社内藤建築事務所 成嶋氏）

FIXのガラス越しのため、室内で聞くのは難しいと思う。

○吉田委員

外にいるとどうなのか。

○設計業務委託者（株式会社内藤建築事務所 成嶋氏）

聞こえると思う。

○吉田委員

すぐ下が高速道路の入口のため、ざわつきが少しでも緩和されるのであれば、せせらぎのような音があった方が良かった。

それから、今、既存棟と増築棟という言い方をしているが、完成した時には、建屋ごとに名称がつくのか。初めて来る方に案内する時に、どういう言い方をするのか。

また、見た目が同じだと迷う方がいると思う。入口のデザインを変えるというのは非常に良い案だと思う。車用と人用の誘導サインが分かりやすく、品のあるデザインが求められると思うので、配慮したデザインとしてほしい。

○設計業務委託者（株式会社内藤建築事務所 成嶋氏）

承知した。

○吉田委員

パウダールームの数や大きさのバランスは、きちんと検証できているのか。

○設計業務委託者（株式会社内藤建築事務所 成嶋氏）

既存の利用状況を鑑みた上で、トイレを計画した。トイレだけの機能だけではなく、パウダーコーナーなどがあれば、施設としては更に良いと思うので、広さとの関係になると思うが、

○吉田委員

このような施設だからこそ、他の施設とは違うバランスがあるのではないかと思う。

○設計業務委託者（株式会社内藤建築事務所 成嶋氏）

課題として検討する。

○田中座長

それでは、皆様から意見を頂けたと思うので、まとめをさせていただく。

まず、前回会議で、委員の皆様からいただいた意見の中で、ランドスケープについて、非常に丁寧に御検討いただけたと思った。その上で、四つほどあった。

一つ目は、トイレ、パウダーコーナーを含めた化粧室について、バランスやシーンとの対応を考えた時に、これで大丈夫かというところを少し御確認いただけると良いと思う。

二つ目は、お子さんについて。外の芝生を使う、使わないという話もあるが、やはりこういう施設でお子さんが来られて、それなりににぎやかにすることは、それはそれで自然なことなのではないかと思う。それが次に向けての希望のようなどころにも繋がっ

ていくと思うので、静ひつな空間と少し対立するところがあるが、お子さんに対する対応という視点を少し持っていただくと良いと思う。

三つ目は、増築棟と既存棟の違いがある程度見えた方が良いということがあった。その中で、サインなども含めて、少しこの施設に合った形で、分かりやすさを提供できるようなことが考えられると良いと思う。

四つ目は、カスケードについて、空に対して意識を向けていただくという意図を非常に理解した。その上で、いろいろ御意見があったため、この形が良いのかどうかというところを御検討いただけると良いと思う。

議事(2)については以上である。

○田中座長

それでは、本日の議事(3)「基町相生通地区第一種市街地再開発事業について（報告）」の説明をお願いする。

○小倉市街地再開発担当課長

おかげさまで再開発事業も順調に進んでおり、既に報道もされているが、12月14日からいよいよ解体工事に着手する見込みであるため、一点御報告差し上げる。

○事業主体（㈱朝日新聞社不動産業務室企画開発専任部長 筒井氏、㈱竹中工務店大阪本店設計部設計第2部門設計3グループ長 秦氏）

（議事(3)「基町相生通地区第一種市街地再開発事業について（報告）」の説明）

○田中座長

ただいまの説明に対して、御意見等あればお願いしたい。

○角倉副座長

可能であれば、蛇籠^{じやなご}のベンチの向きを検討することで、会話がはずむと思うので、配慮してほしい。席の配置の仕方でもみんなが会話しているポジティブなシーンを描ければ、再開発の目玉になる。

6ページで、6階にたまりという部分があるが、なんとなく寂しい感じがする。ウッドデッキのデザインを少し検討すれば、たまりという機能を引き出せると思う。テーブルが2つ、ベンチが5つというよりは、デザインをひと工夫すれば、たまり機能がありつつ一体感が出ると思うので、配慮してほしい。

木々の樹木選定は非常に良いと思った。まとめると緑のエリアができると思うが、一つのテーマをつけて、配置していくということも面白いと思う。1階と6階が、蛇籠^{じやなご}のベンチやウッドデッキと繋がりながら、ポジティブなシーンが描けると思うので、可能であれば緑のテーマを詰めてほしい。

○事業主体（㈱竹中工務店 秦氏）

いずれも、具体的にコンセプトを連動させながら検討しており、ワークショップなど、いろいろな使い方も想定している。6階テラスを使われる方については議論できていないため、実際使うところをもっと見えてきたら、もう少し具体的にできると思っているの、いただいた意見も踏まえながら対応していきたい。

○高田委員

こんなにたくさんのお木がこのビルの中に植えられるということに少しびっくりして、すごいなと思っている。

6階のたまりについて、以前のままでも結構たまりがあった。今回の案だと、窓際（室内側）に対して斜めに座るようなベンチになっていて、あまり楽しくないのかなと思ったので、外や広場の方を向いた方が良いかと思う。前の形だと、高さの検討は必要だが、舞台としても利用できそうだった。

○吉田委員

水の表現について、具体的な水を使わなくても、アートの手法などでいろいろ対応ができると思う。当方は芸術系の大学で、そういったことに得意な学生がいるため、何か一緒に盛り上げれば良いと思う。

立体的な都市軸についてだが、意識できるように、WEBサイトでも伝えることを考えてほしい。

○事業主体（株朝日ビルディング 駒谷氏）

1階と6階は学生にぜひ活用してほしいと思っており、学生と一緒に何かやりたいと考えているため、プロジェクションマッピングなどの水をイメージさせるものの制作に芸術系の学生にも参加してほしいと思っている。実際に、各大学の学生と話もしているため、学生の思いや考えを吸収していきたい。

WEBサイトで、建物をどのような思いで造ってきたかということなどをぜひ掲載したいと考えている。

○田中座長

それでは、皆様から意見を頂けたと思うので、まとめをさせていただく。

一つ目は、1階ピロティの蛇籠^{じかご}のベンチについて、より多くの方に利用していただけるようなデザインを考えていただけると良いと思う。

二つ目は、6階のオープンテラスのデザインについて。これから学生さんや使われる方と話をしながら決めていくかと思うが、もう少しこの空間が生かせるようなデザインがあるのではないかという御意見があったかと思う。

個人的に思ったのは、今回テーブルが置かれたことで、前回に比べると、利用の可能性が大幅に広がると思われる。そう考えると、やはりこのテーブルを配置するという点は大事にさせていただけると良いかと思った。

三つ目は、特に1階と6階のデザインをされる中で、背景にある思い、例えば垂直軸の話など、そういった意図ができるだけ多くの人に広がると良いと思った。潜在自然植生の話もそうだが、いろいろ考えられてデザインをされているので、それが使われる方々にちゃんと伝わるようなことを考えていただけると良いと思った。

これについては、WEBサイトは大事だと思うが、そこにいる人に直接的に伝わるという物理的なものがあるかというの個人には思った。

その他に、植樹について、私もすごく良いかと思った。楽しみである。広島地域、潜在自然植生を参考にしたということで、広島に自然に近いものをこの場所に再現していこうという、近年、例えば大手町の森などもあるが、そういう時代の流れなんだと思う。そういう意味でいうと、非常に現代的なトライだと思っており、これは非常に良いかと思った。この方向で進めていただければと思う。

また、学生の皆さんやこれからここを使われるであろう皆さんとの対話を非常に大事にしていこうというお話だったかと思う。それは、やはりこの場所に対して愛着を持っていただく方を増やすという意味でも、非常に大事だと思う。その辺りを既にいろいろやられているということだが、引き続き進めていっていただけると良いと思う。

議事(3)については以上である。